

---

## 無痛性甲状腺炎

### A)甲状腺に痛みがなければ、無痛性甲状腺炎です。

---

この病気は慢性甲状腺炎を持つ人がなり易いといわれています。稀ですが、バセドウ病の治った状態の人、橋本病を持たない人でも起こります。

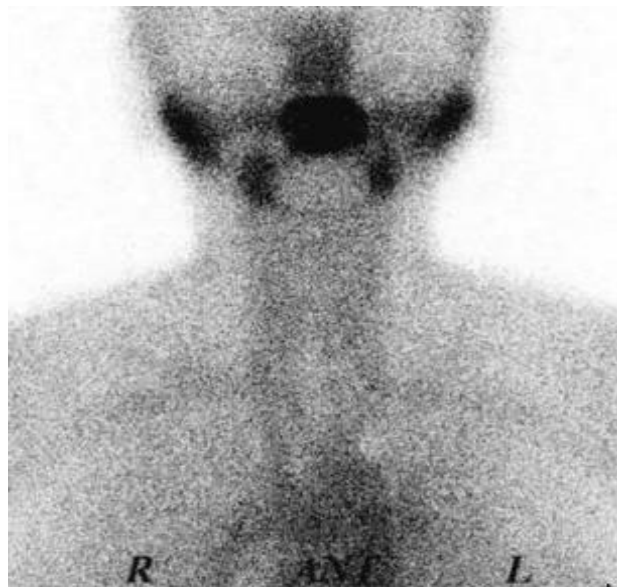
お産の後にでる場合とお産とは関係なくでてくる場合があります。

3~4ヶ月で自然によくなることが多いために、産後の肥立ちが悪いと言われていたものの中にこの病気があったかもしれません。

原因はわかりませんが、何かの理由で甲状腺の組織が壊され甲状腺ホルモンが血中に漏れ出てきて、そのときは甲状腺ホルモンが高くなります。しかし、1~2ヶ月すると甲状腺ホルモンは低下してきて反対に甲状腺機能低下症になります。これは壊された甲状腺組織が修復される間、甲状腺ホルモンが作れないためです。甲状腺機能低下症は2~3ヶ月で良くなり、もとの正常な甲状腺機能に戻ります。しかし、20~30%ではそのまま持続性甲状腺機能低下症になる人もいます。

甲状腺ホルモンが高くなりますので、バセドウ病と間違われることがあります。バセドウ病と鑑別する一番確実な手段は、放射性ヨード摂取率試験です。診断をしっかりつける理由は、治療が全く違うからです。バセドウ病は抗甲状腺薬などの治療を必要としますが、無痛性甲状腺炎は特に治療を必要としないことです。不必要な治療は避けたいものです。

治療は特に必要なく、動悸の強いときベータ遮断薬を飲むぐらいです。しかし、この病気は亜急性甲状腺炎と違い、一生のうちで何回も繰り返し起こすこともあり注意を要します。



動悸を主訴に来院。頸部に弾性硬のやや腫大した甲状腺を触知するが圧痛はなく、甲状腺ホルモン FT4 は高値。放射性ヨード摂取率試験にて甲状腺に集積を認めず、無痛性甲状腺炎と診断された。